

『教養を深め、時代を読む ～ 先人の志を継承しつつ ～』

2023 年 4 月 14 日 筆者が毎週書いてるブログ『楕円形の心』の編集を担当してくださっている榎本稔氏と東久留米ジョナサンで面談した。この度、第 313 回になったブログ『楕円形の心』を 100 選して『教養を深め、時代を読む ～ 楕円形の心 ～』(to be 出版)として出版されることが決定された。筆者が【キリスト新聞『21 世紀へのエマオの道 ～ 先人の志を継承しつつ ～』】のタイトルで、1 年間連載したものを 2005 年に『われ Origin of fire たらん ～ がん哲学余話 ～』(to be 出版)を榎本稔氏が発行して下さったことが鮮明に思い出された。【Origin of fire ひのおきを (Hino Okio=火の熾きを!) の日々の活動と省察録】としての最初の本『われ 21 世紀の新渡戸とならん』(2003 年 発行:イーグレープ/発売:いのちのことば社)も榎本稔氏の支援で、筆者が広報誌『Scientia』に連載していた文章をまとめたものである。今年(2023 年)『われ 21 世紀の新渡戸とならん』出版 20 周年記念として『教養を深め、時代を読む ～ 楕円形の心 ～』の単行本が実現したら歴史的快挙となろう!

エマオ(Emmaus アメリカのペンシルベニア州)には、wife の実家があった。筆者は医師になり、癌研究会癌研究所の病理部に入った(1979 年)。そこで、当時、癌研究所所長であった菅野晴夫(1925-2016)先生との大いなる出会いに遭遇した。菅野晴夫先生にフィラデルフィア(Philadelphia)の Fox Chase Cancer Center (1905 年に米国で最初のがん病院の一つとしてに設立された)の Knudson(1922-2016)博士の下で『Science を学んでくるように』と留学(1989 年)の機会が与えられた。エマオには週末には訪問したものである。まさに、『自分の身長が伸びた』留学体験であった。菅野晴夫先生から 1991 年に癌研実験病理部部長として、帰国するようにと指示を下さった。2000 年新渡戸稲造(1862-1933)『武士道』発刊 100 周年シンポでの講演もして頂いた。

筆者は、2007 年から新渡戸稲造の『武士道』と内村鑑三(1861-1930)の『代表的日本人』読書会を継続的に行なっている(画像)。2023 年 4 月 16 日の読書会の箇所は、『武士道』の第 14 章『婦人の教育および地位』である。『不思議な不連続の連続性の時の流れ』を痛感する日々である。

# がん哲学外来へようこそ

**The Cancer Philosophy Cafe** will meet **1-3 pm this Sunday, (4/16)** in the CAJ Multi purpose room, followed by the Book discussion group at 3-5pm at the East Side Cafe.

今週の日曜日 4月16日、がん哲学カフェが 1-3 pm CAJ Multi Purpose Roomであります。

その後、読書会がEast Side カフェにて3-5pmにあります。



**YORISOU**

Please contact Okio or Jean Hino for further information!  
詳細は樋野先生かJeanさんにお尋ね下さい！